

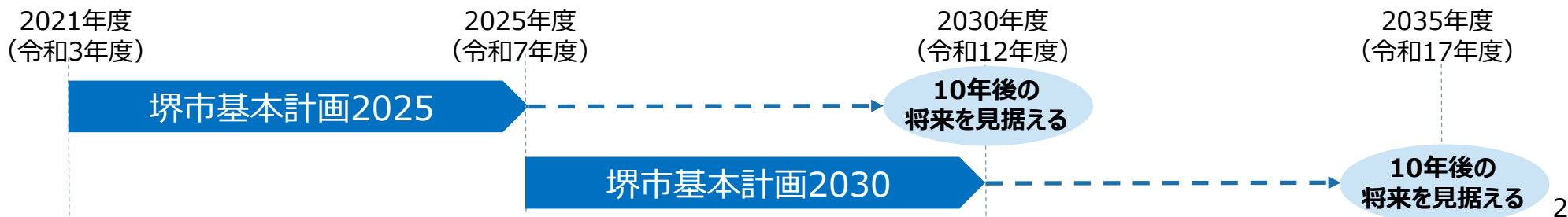
計画の基本的な考え方

計画策定の方針

- 現行の「堺市基本計画2025」は、市政運営の大方針としてすべての職員が内容を把握し、事業の実施や目標達成に向けて強い意識を持って臨むよう全庁で共有し進めてきた。
- 人口減少など本市を取り巻く環境が厳しさを増す中、今後は**現行計画のもと取り組んできた様々な課題への対応や未来への挑戦を、過去に戻すことなく着実かつ効果的に推進することが重要**である。
- そのため、次期計画は**現行計画の基本事項など基礎となる部分の考え方は引き継ぎつつ、より効果的な内容へと見直す形で策定**する。

■計画の基本事項

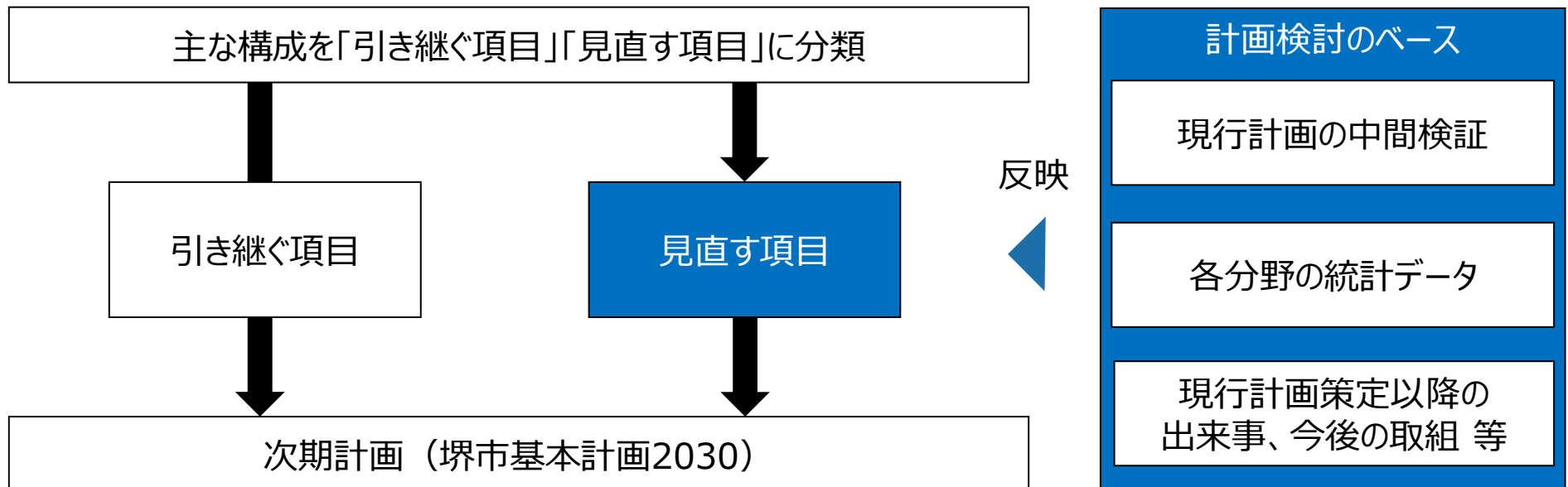
名称	堺市基本計画2030 ※2030は「ニーマルサンマル」と発音
目的	めまぐるしく変化する社会経済情勢を的確に捉え、将来にわたって持続可能な都市経営を推進することを目的として策定
位置づけ	10年後の2035年度を見据え、本市として取り組むべき方向性を示した都市経営の基本となる計画（市政運営の大方針）
計画期間	2026年度～2030年度



- 策定方針を踏まえ、計画の**主な構成の枠組みは維持**する。
- 主な構成のそれぞれの内容を精査した上で「**引き継ぐ項目**」「**見直す項目**」に分類し、「見直す項目」については**現行計画の中間検証や社会経済情勢の変化等を踏まえ見直す**。

■ 計画の主な構成

- ・ 本市が将来にわたり持続的に発展を遂げるために掲げる「都市像」
- ・ 「都市像」のもとに重点戦略を推進する上で必要となる「基本姿勢」
- ・ 持続可能な都市経営を推進するための10年後を見据えた長期的な目標である「KGI」
- ・ 今後、5年間で重点的に取り組む「重点戦略」とその評価指標である「KPI」
- ・ エリア毎に都市機能や基盤を戦略的に強化・充実する方向性を定めた「空間像・エリア戦略」
- ・ 本計画を進める上で、基本的な視点や手法を示す「計画の推進」



「引き継ぐ項目」「見直す項目」の考え方

■ 主な構成のうち現行計画から「引き継ぐ項目」

項目	考え方
都市像	本市を取り巻く環境は今後も厳しさを増すことが予想され、変化を恐れず、挑戦・創造し続ける堺であることは、次期計画においても不可欠なコンセプトである。
基本姿勢	4つの基本姿勢は、本市のあらゆる取組を進める上でベースとなる内容であり、不変的なものとして引き継ぐことが妥当である。
KGI	KGIは持続可能な都市経営を推進するため、長期的に向上をめざす特に重要なゴールとして掲げたものであり、引き継ぐことが妥当である。
重点戦略（柱）	「歴史文化」「健康・福祉」「子育て・教育」「都市魅力」「都市基盤」の5つの柱は次期計画においても重点的に取り組むべき内容のため引き継ぐことが妥当である。
計画の推進	4つの視点・手法は、本市のあらゆる取組を進める上でベースとなる内容であり、不変的なものとして引き継ぐことが妥当である。

■ 主な構成のうち現行計画から「見直す項目」

項目	考え方
重点戦略（施策、取組の方向性）	重点戦略の「施策」はよりシンプルな体系に再編する。「取組の方向性」は社会の変化や課題等を踏まえ、記載を強化し、新たな内容を盛り込むなど見直しが必要である。
KPI	KPIはこれまでの進捗管理の中で見られる課題等を踏まえた見直しが必要である。
空間像・エリア戦略	関連計画における各エリアの将来像や方針等を踏まえた見直しが必要である。

※「引き継ぐ項目」「主な構成以外の項目」についても、計画策定時点で最適な表現、内容となるよう必要な記載の見直しは行う。

計画の主な構成（全体像）

※記載の項目は現行計画から引き継ぐ項目。説明の記載は概要版等より引用。計画策定時点で最適な表現、内容となるよう必要な記載の見直しは行う。

都市像	めざす都市の姿	未来を創るイノベティブ都市 ～変化を恐れず、挑戦・創造しつづける堺～	人口減少や高齢化により厳しい都市経営が予想される中、本市が将来において持続的に発展し、暮らしやすい都市であるためには、未来に向かってイノベーションを生み続けなければならない。時代の変化を的確に捉え、柔軟に対応しながら、変化を恐れず、果敢に挑戦・創造し続ける。
基本姿勢	施策を推進する 上での基本姿勢	持続可能性 ～Sustainable～	SDGsの理念を踏まえ、地域社会が持続する。
		多様性 ～Diversity～	個々の多様性を尊重し認め合い、人々が自分らしく活躍できる。
		ともに創造 ～Co-creative～	市民、企業、大学、団体など様々な主体が思いを共有し協創する。
		Society5.0 ～Smart～	ICTやデータの活用により、市民の快適な暮らしを実現する。
KGI	10年後に めざすゴール	将来推計人口を上回る人口	持続的に発展する都市の実現をめざす。
		健康寿命	高齢になっても充実した生活を送ることや、意欲のある人が社会で活躍し続けることができる都市の実現をめざす。
		事業従事者1人当たりの付加価値額	労働力人口の減少という大きな環境の変化を乗り越え、経済成長ができる都市の実現をめざす。
計画の推進	計画を進める 上での視点や手法	平和と人権の尊重	すべての施策を平和と人権を尊重する視点を持って進める。市が率先して男女共同参画社会や多文化共生社会をめざす。
		財務戦略	市民生活の安全・安心を支え、堺の成長を推進するために、健全な財政基盤を構築する。
		戦略的広報の推進	市政の目的と連動した広報を戦略的に推進し、施策や事業とその成果への貢献を通じて、市政への信頼獲得、ブランド力の向上など、市のプレゼンスを高める。
		利便性の高い区役所の実現	市民に最も近く、日常生活において市民と直接関わる機会の多い区役所の機能強化を進める。
空間像 エリア戦略	10年後の姿と 実現に向けた戦略	関連計画における各エリアの将来像や方針等を踏まえた見直しを庁内で検討	

重点戦略	柱	施策、取組の方向性	KPI
	1 堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～ 堺の類稀な歴史文化資源に磨きをかけ、後世にその価値を引き継ぎ、歴史や文化芸術、国際交流を通じて、都市のブランド力の向上を図り、新たな誘客や交流を生み出す。	【施策体系】 現行の31施策から、よりシンプルな体系への再編を庁内で検討	【KPI設定の考え方】 本懇話会において、施策の進捗を評価するKPI設定の重要な視点についてご意見を伺い検討
	2 人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～ すべての人がいくつになっても、心身ともに健康で、輝きながら暮らし続け、充実した生活を送ることができるよう、健康・福祉の充実を図る。		
	3 将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～ 子どもの「今」が大切にされ、将来に希望を持って健やかに育ち、未来にはばたけるよう、子どもを安心して生み育て、より良い教育を受けられる環境をつくる。		
	4 人や企業を惹きつける 都市魅力 ～Attractive～ 人や企業を惹きつける魅力を創出し、イノベーションを次々と生み出すことで、持続的に発展的な地域の活性化につなげる。		
	5 強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～ 安全・安心な市民生活や社会経済活動の基盤として、犯罪のない、防災・減災力の高い強靱な都市や世界に発信できる環境先進都市を実現する。		
		【取組の方向性】 本懇話会において、各重点戦略において新たに追加すべき項目等についてご意見を伺い検討	【指標、目標値】 本懇話会において、上記のKPI設定の考え方を踏まえ、施策ごとに設定した指標、目標値の案についてご意見を伺い検討

各懇話会の開催目的と論点

第1回懇話会	【目的】 計画の基本的な考え方の検討、現状認識の共有 【論点】 ○計画策定の方針や主な構成、「引き継ぐ項目」「見直す項目」など基本的な考え方は適切であるか ○現状を踏まえ、各重点戦略において今後どのような視点、キーワードが重要であるか。
第2回懇話会	【目的】 「見直す項目」の重要なポイントである重点戦略の強化とKPI設定の考え方の検討 【論点】 ○各重点戦略において、新たに追加すべき項目はどのような内容が考えられるか。 ○施策の進捗を評価するKPIはどのような視点で検討すべきか。
第3回懇話会	【目的】 掲げる目標の妥当性など計画素案の検討 【論点】 ○計画素案に掲げた指標や目標値は妥当であるか。 ○計画素案の記載において、見直すべきところや追加すべき内容はないか。

※各懇話会の内容や論点は今後の議論の状況に応じて見直す可能性がある。

計画策定のスケジュール

主な構成		2024年度	2025年度							
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月				
引き継ぐ項目	都市像	【1月】第1回懇話会	最適な表現、内容となるよう記載の見直しを検討		第3回懇話会	【11月】第3回懇話会のご意見を踏まえ、計画素案とりまとめ	【12～1月】パブリックコメントの実施、計画案への反映検討	【2月】計画案の議会上程	【3月】議会の議決	
	基本姿勢									
	KGI									
	重点戦略（柱）									
	計画の推進									
見直す項目	重点戦略（施策、取組の方向性）	第1回懇話会	第1回懇話会のご意見や現行計画の検証等を踏まえ論点としてお示しする案を検討	第2回懇話会	第2回懇話会のご意見を踏まえ計画素案に盛り込む内容を検討	第3回懇話会	【11月】第3回懇話会のご意見を踏まえ、計画素案とりまとめ	【12～1月】パブリックコメントの実施、計画案への反映検討	【2月】計画案の議会上程	【3月】議会の議決
	KPI									
	空間像・エリア戦略		関連計画における各エリアの将来像や方針等を踏まえた見直しを検討							

※「主な構成以外の項目」についても最適な表現、内容となるよう記載の見直しの検討などを進め、計画素案に反映する。

※第2回以降の懇話会の具体的な日程は今後調整。